

チャリティーイベント『第22回 秘蔵の名品 アートコレクション展』

旅への憧れ、愛しの風景

—マルケ、魁夷、広重の見た世界—

【期間】2016年7月27日（水）～8月18日（木）23日間

【会場】ホテルオークラ東京 宴会場「アスコットホール」（地下2階）

～5月16日（月）より前売券 販売開始～

企業文化交流委員会

企業文化交流委員会（委員長：東京国立博物館 館長 銭谷眞美）は、7月27日（水）から8月18日（木）までの23日間、「第22回 秘蔵の名品 アートコレクション展」を主催 ホテルオークラ東京にて開催いたします。これは「ホテルの持つ社会性・公共性に着目し、社会に還元する文化活動」を行うメセナ活動の一環として1994年より独自の視点からテーマを掲げ続けてきたチャリティー絵画展です。

開催は本主旨にご賛同いただいた企業や美術館・個人収集家よりテーマに沿った秀作を借用賜り、ホテルオークラ東京内に特設した会場に展示・公開いたします。尚、本展の純益は、日本赤十字社、NHK厚生文化事業団を通じて、社会貢献の為に寄付いたします。

本年は、「旅への憧れ、愛しの風景 —マルケ、魁夷、広重の見た世界—」と題し、日本および西洋の画家たちが自らの居所を発ち赴いた「旅」に焦点をあて、「旅」を通じて描かれた絵画約 120 作品を 31 の企業・団体・個人より拝借し公開いたします。

自らの居所を離れ、他の場所へと赴く「旅」。ビジネス、信仰、観光と様々な目的のために人々は旅をし、その地で新たな景観、花鳥、そして人々に出会いました。そのなかで画家たちは、自らの目に焼きつけたモチーフを様々な形で表現してきました。会場は3章で構成され、日本各地から世界の旅へと展開します。

企業理念に通じる絵画・ことば

《東海道五十三次》と日本通運株式会社

この作品に描かれた「東海道」は、江戸時代、江戸と京都（現在の東京と京都・大阪）という政治・経済・文化圏を結ぶ日本の交通の大動脈として機能してきました。輸送に携わる日本通運株式会社が、交通の原点として大切に所有されてきた文化財・全作品 55 点を一堂に初公開いたします。

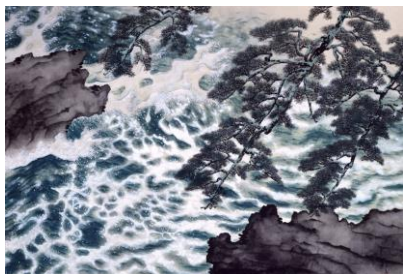
『歩み入る者にやすらぎを、去り行く人にしあわせを』とホテルオークラ東京

旅籠であるホテルは、いかなる場においても旅人を温かく迎え入れる、「旅」には欠かすことができない空間です。オークラを常宿としてきた川端康成先生より贈ってくださったこの言葉こそ、ホテルオークラの心、精神として大切にしてきました。原文はドイツのローテンブルクにある古城のシュピタル門にラテン語で刻まれています。参考文献：東山魁夷「馬車よ、ゆっくり走れ」（新潮社、1971年）

<展覧会構成・見どころ>

第1章 日本の風景をめぐる

明治時代以降の日本において描かれた、美しく、ダイナミックな風景表現に焦点を当てます。旅を通じて目にする日本の様々な風景を、横山大観をはじめとする日本画家の作品で巡ります。多くの人に愛され続けている富士山を主題とした名作5点もご紹介します。巨匠・大観が昭和初期に残した大作、《海山十題》のうち4作品も展示いたします。



横山大観《波騒ぐ》(霊友会妙一コレクション)



横山大観《砂丘に聳ゆ》(霊友会妙一コレクション)

第2章 愛しの風景

画家たちが繰り返し描いた風景描写に焦点を当てます。東山魁夷をはじめ、佐伯祐三ら明治以降の日本人画家が西洋風景に出会い描いたヨーロッパ風景の作品を取り上げます。さらに、20世紀フランスの重要な風景画家であり、静かで卓越した描写で注目されるアルベール・マルケの描いたフランスや地中海風景の絵画18点を展示いたします。「水の画家」と評されたアルベール・マルケの郷愁感漂う、穏やかで優しい独自のタッチと東山魁夷の絵画との対比など東西風景画家の競演が実現します。



東山魁夷《スオミ》
(住友コレクション・泉屋博物館分館)



アルベール・マルケ《アルジェの港、ル・シャンポリオン》
(ヤマザキマザック美術館)

第3章 広重、旅への憧れ

江戸後期の日本を代表する旅の図として、歌川広重による浮世絵版画《東海道五十三次》全55点を一堂に展示いたします。日本橋を起点とする「東海道」は風光明媚な景観と名跡のために、たびたび画題として取り上げられました。我々日本人がとらえてきた印象的な景観と、人々の生き生きとした姿をご覧ください。



歌川広重《東海道五十三次》(日本通運株式会社)

<22 回目を迎える独自の絵画展>

ホテルオークラ東京の創業者 大倉喜七郎（1882-1963）は、横山大観などの日本画家たちを全面支援し、1930年にイタリア・ローマにて「日本美術展覧会」を開催するなど美術をはじめとする芸術への造詣が深く、「ホテルは人々が集い、文化・芸術が交流する場である」という強い理念を抱いていました。

その思いを継承し、ホテルオークラ東京では1994年より毎年独自のテーマのもと80～90点程の作品を全国各地の企業・個人所蔵家・美術館より収集し、秘蔵の名品と言われる数々の作品をご紹介します「秘蔵の名品 アートコレクション展」を開催してまいりました。

第1回よりチャリティーイベントとして開催し、第21回までに公開した絵画は1,641点、延べ約53万8千人以上のお客様にご来場いただき、総寄付金額は約1億7千4百万円に達しました。同展における純益の全ては日本赤十字社等を通じて、社会貢献のために寄付いたします。



創業者 大倉喜七郎

開催実績抜粋 （2010年～2015年）

◆2010年 第16回展「秘蔵の名品 アートコレクション展」

<テ ー マ> 平山 郁夫 平和への祈り(出展数78点)

◆2011年 第17回展「秘蔵の名品 アートコレクション展」(ホテルオークラ東京開業50周年記念)

<テ ー マ> 文化勲章受章作家の競演 日本絵画の巨匠たち
昭和12年創設以来の全58名の画家の名品90点

◆2012年 第18回展「秘蔵の名品 アートコレクション展」(ホテルオークラ東京開業50周年記念)

<テ ー マ> 東京美術学校から東京藝術大学へ 日本絵画の巨匠たち
歴代教員および卒業生約40人を選抜(出展数84点)

◆2013年 第19回展「秘蔵の名品 アートコレクション展」

<テ ー マ> モネ ユトリロ 佐伯と日仏絵画の巨匠たち (出展数95点)

◆2014年 第20回展「記念特別展 秘蔵の名品 アートコレクション展」

<テ ー マ> 日本の美を極める
—近代絵画が彩る四季・花鳥・風情— (出展数81点)

◆2015年 第21回展「秘蔵の名品 アートコレクション展」

<テ ー マ> 美の宴～琳派から栖鳳、大観、松園まで (出展数60点)

『第22回 秘蔵の名品 アートコレクション展』 開催概要

- 【名 称】 「第22回 秘蔵の名品 アートコレクション展」旅への憧れ、愛しの風景
- 【開催期間】 2016年7月27日（水）～8月18日（木） 23日間 期間中無休
- 【開催時間】 10:00～18:30（最終入場18:00） ※7月27日（水）は12:00～
- 【会 場】 ホテルオークラ東京 宴会場「アスコットホール」（地下2階）
- 【主 催】 企業文化交流委員会
- 委員長： 銭谷 眞美 東京国立博物館 館長
- 委員： 森田 富治郎 第一生命保険株式会社 特別顧問
- 委員： 齋藤 宏 みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問
- 委員： 松下 正幸 パナソニック株式会社 代表取締役副会長
- 委員： 大崎 磐夫 公益財団法人 大倉文化財団 理事長
- 委員： 池田 正己 株式会社ホテルオークラ東京 代表取締役社長
- 【協 賛】 株式会社ホテルオークラ東京、ホテルオークラ共栄会
- 【後 援】 文化庁、観光庁、港区、NHK、日本赤十字社、公益社団法人企業メセナ協議会、一般社団法人日本経済団体連合会、読売新聞社
- 【協 力】 公益財団法人大倉文化財団・大倉集古館、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、株式会社山元、日本通運株式会社
- 【監 修】 金原 宏行 （豊橋市美術博物館 アート・アドバイザー）
熊澤 弘 （美術史家・武蔵野音楽大学 講師）
- 【学 芸 員】 神津 瑛子、塚原 実甘
- 【学術協力】 薩摩 雅登 （東京藝術大学 教授）
田中 知佐子（大倉集古館 副主任学芸員）
- 【入 場 券】 **5月16日（月）より前売券販売開始（7月26日（火）まで）**
一般 ¥1,300（前売券¥1,000）/大学・高校生 ¥1,000（前売券¥900）中学生以下無料
- 【販売場所】 ・ホテルオークラ東京
（公式ウェブサイト、フロント、コンシェルジュデスク、各レストラン・バー）
・チケットぴあ（入場券Pコード：990-295）・ローソンチケット（Lコード：36019）
・Yahoo!電子チケット（PassMarket）・JTB、JTB総合提携店各店舗
・JTBエンタメチケット ・e+（イープラス）
- 【事 務 局】 株式会社ホテルオークラ東京 営業企画部
TEL03-3505-6110（月～金 9:00～17:00/祝日を除く）

報道関係の方からのお問い合わせ先

ホテルオークラ東京 営業企画部 広報課 青沼・小栗・久住
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-4 TEL：03-3224-6731（直通）

一般の方からのお問い合わせ先

ホテルオークラ東京 TEL：03-3582-0111（代表）